

セミさんぽ

親和中学校とその周辺5カ所におけるセミの種組成



親和中学校、親和女子高等学校 生物部

セミのぬけがらの見分け方

特大 クマゼミ
背中が3色

小 ニイニイゼミ
体は丸く、泥だらけ

中 アブラゼミ
・触角が太い
・手深い
・触角
長さ ② < ③ 太さ ② = ③

ミニミニ ミニミニゼミ
・触角が細い
・体の色がベージュ色
長さ ② = ③ 太さ ② > ③

触角が取れてしまったときは...

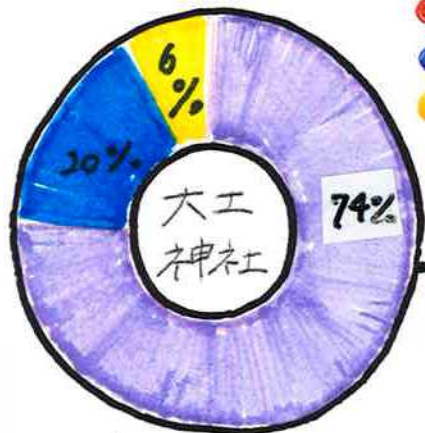
上 3
下

「うるさい!」と、誰かさんにハつ当たりされたって、懸命に鳴き続けるセミ。しかし、よく聞いてみると、いろんな鳴き声が聞こえてきます。『さっきからアブラゼミの鳴き声しか聞こえないけど、セミの種類によって繁殖する環境がちがったりするのかな?』そんな疑問をもった本校の生物部は30度を超える暑さの中、体を張って調査しました。

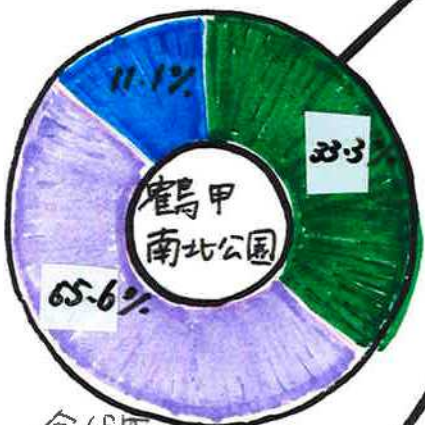
目的 動機

集めた日時・場所

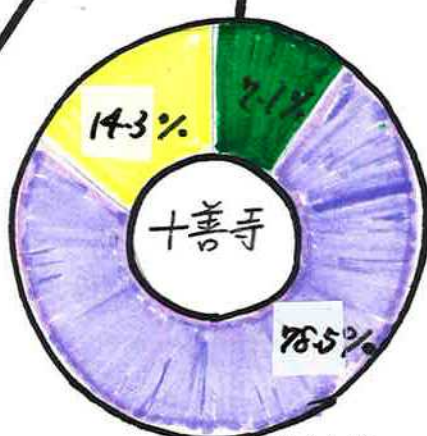
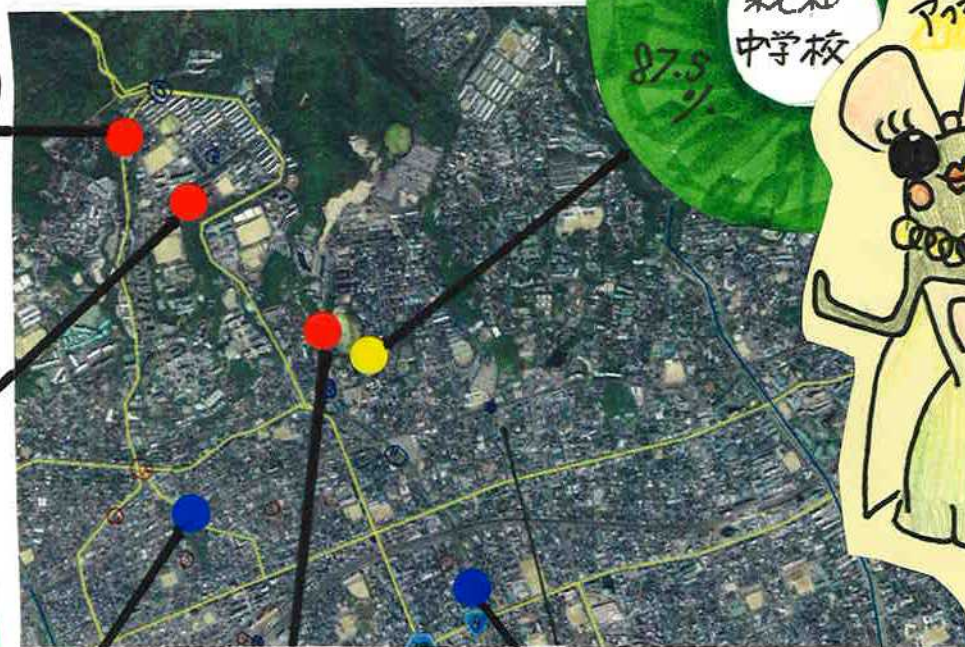
- 7/29 大工神社、十善寺、鶴甲南北公園
- 7/31 石屋川公園、八幡神社
- 7/26 親和中学校



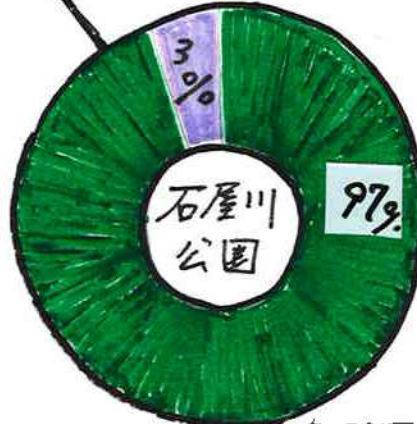
全: 35匹



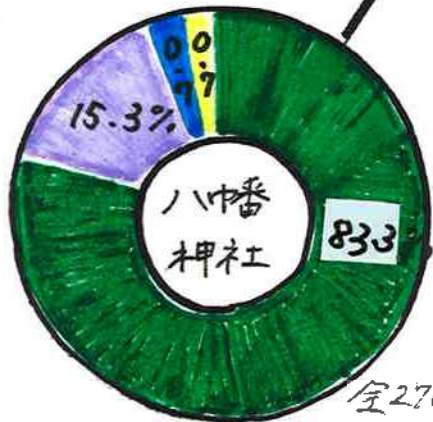
全18匹



全14匹



全98匹



全270匹

● Kumazemi ● Aburazemi ● Niiniazemi

● Minimini-Zemi

引用した資料

- 「セミのおきみやげ」 宮武頼夫 / 中西章 絵 / 福音館書店
- 大和市市民環境調査事業「セミのぬけがら調査」

結果

アブラゼミ、ニイニイゼミは市街地より緑地の方が多く生息しており、

クマゼミは市街地の方が圧倒的に多いため、クマゼミは「都会っ子」であるといえる。

今回の調査は7月下旬に行われたこともあり、8月以降に鳴き始めるヒゲラシ・ツクツクボウシのぬけがらがあまり集められていないので、見つからなかったらいいな。

クマゼミは都会っ子
アブラゼミ、ニイニイゼミは田舎っぺ

